

LESSON 01

AI開発の一連の流れを知る

AI coordinator 清水 秀樹

本日のゴール

- A I 開発の一連の流れがイメージできるようになる。
- 実際にソースを動かすことで「学習」と「推論」がどのようなものか分かるようになる。

A I 開発の流れを知ろう

要件：数字を倍にできる A I がほしい！！

https://github.com/ai-coodinator/AI_remote_lesson/tree/main/lesson01

<https://colab.research.google.com/>

A I 開発の流れを知ろう

PoCをやってみましょう！

Proof of Concept（概念実証）

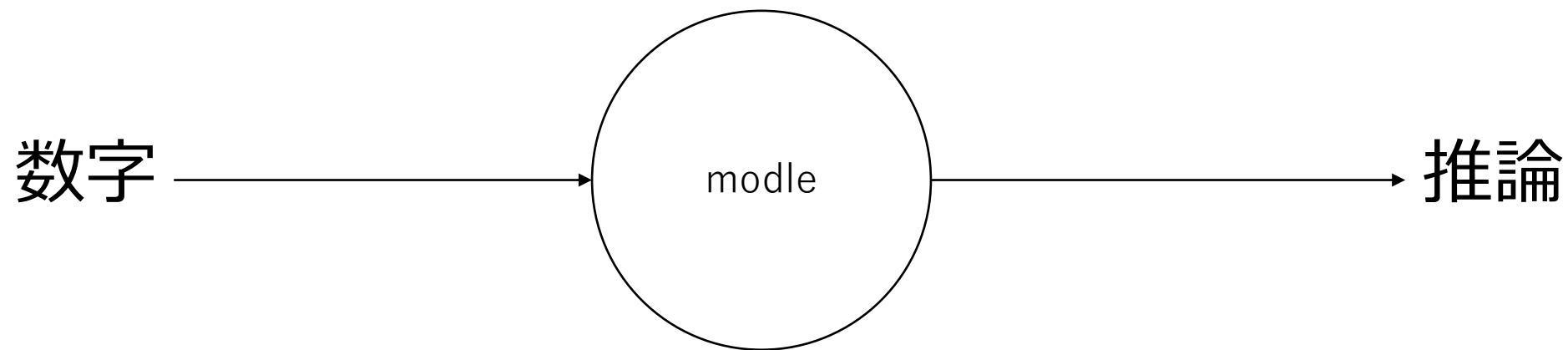
A I 開発の流れを知ろう

PoC用にデータください

- ・ 1 は 2 になります。
- ・ 2 は 4 になります。
- ・ 1 5 0 1 は 3 0 0 2 になります

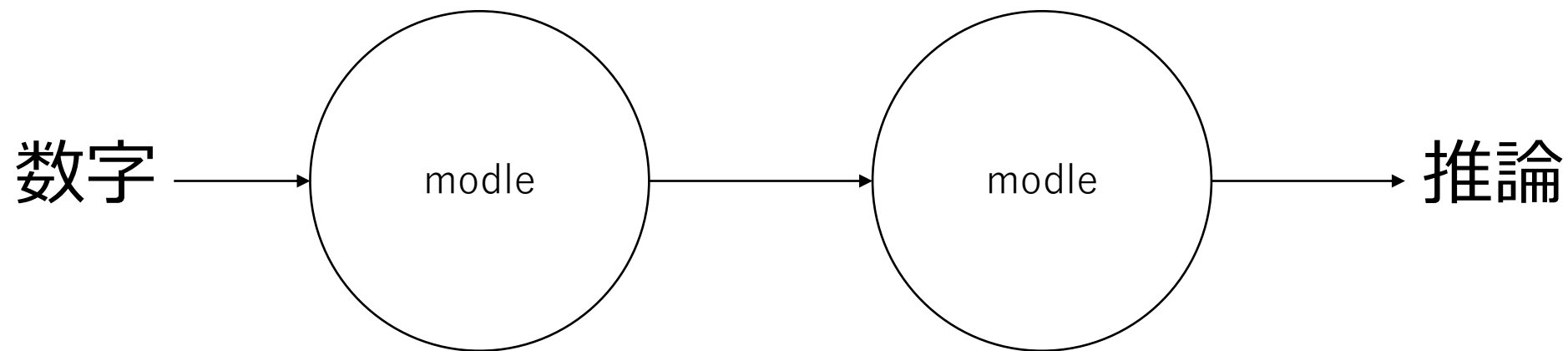
1. A I 開発の流れを知ろう

作ってみよう



1. A I 開発の流れを知ろう

頭を良くしてみよう



A I 開発の流れを知ろう

実現できそうなら本開発

ユーザーに大量のデータを準備して頂く

- 1 は 2 になります。
- 2 は 4 になります。
- 4 は 8 になります。
- 5 は 1 0 になります。
- 1 5 0 1 は 3 0 0 2 になります

A I 開発の流れを知ろう

現実・・・

ユーザーに大量のデータを準備して頂く

- ・ 1 は 2 になります。
- ・ 2 は 4 になります。
- ・ 4 は 7 になります。
- ・ 5 は 1 0 になります。
- ・ 1 5 0 1 は 3 0 0 2 になります

A I 開発の流れを知ろう

AI開発には
綺麗なデータが大量に必要

LESSON 01のまとめ

AI開発の成功ポイント

- ・ 綺麗なデータを準備できるか？
⇒ユーザーが自らの手を動かしてデータを準備する意識あるか？
- ・ AIは100点取れないことを理解しているか？
⇒AIがミスすることを許容したうえでの開発か？
AIのミスをフォローできる対策が考えられているか？

LESSON 01のまとめ

ユーザー自身が綺麗なデータを集める気持ちがなく、
とにかく精度を上げろとしか言わない相手とは

絶対に仕事をしてはいけません！

LESSON 01のまとめ

**AI開発は
他社の成功事例を真似て自社に取込める
今までのITとは全く違う技術です。**